

様式（第3条関係）

東京都とうきょうすくわくプログラム推進事業活動報告書

所在地	板橋区前野町 3-28-1
園名	ベネッセ 前野町保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

- ① 自然 ② 表現

<テーマの設定理由>

- ① 自然豊かな園庭がある当園の特徴を生かし、自然をテーマに設定した。園庭の植物に日頃から関心を持ち、砂や泥での遊びを展開していることから、植物・砂・泥などに触れ、探求心や冒険心を持って関わる中で、子どもの興味関心を更に深めたいと考えたため。
- ② 当園の子どもたちは、表現することが好きで日頃から親しんでいることから、表現をテーマに設定した。様々な素材や玩具を通じて自己表現し、互いに刺激し合っってイメージを共有し、協力して取り組むことを楽しみながら表現力を高め、これにより、創造性やコミュニケーション能力を豊かに育みたいと考えたため。

2. 活動スケジュール

- ① 例年春から暑さが厳しくなる夏前と、秋に園庭遊びが特に活発になる。園庭の植栽が豊かな季節が自然物を用いた遊びに適している為、9月～11月を中心にスケジュールを立てた。
- ② 春に進級して異年齢クラスに加わった3歳児クラスの子どもたちが、4歳児・5歳児の積み木遊びや制作の様子にとっても興味を持っていた。3歳児クラスが異年齢クラスの環境に慣れ、自然な関わりが見られるようになった夏ごろから、表現遊びが継続するようにスケジュールを立てた。

3. 活動のために準備した素材、道具及び環境の設定

- ① 園庭の自然物（砂・葉っぱ）、砂場玩具、五感を使って探究するための玩具、数量などへの興味を深めるための道具など
- ② 積み木遊びを何日も継続してできるための空間、使いたい素材がいつでも手に取れる環境、イメージしたことが形にできるように様々な素材を準備した。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ① 園庭で採取した葉っぱや花を、潰したり、水を加えて濾すなど試し、五感を使って関心を深めた。また濾した液に酢を加えて変化を観察した。砂場では掘ったり地ならしするための様々な玩具を用いて、友だちとイメージを共有しながらごっこ遊びを展開した。穴の深さに興味を持った子には、メジャーで測ることを提案して達成感につなげた。
- ② 積み木遊びでは、一週間作り続けられる空間で、友だちと相談し、楽しみながら街づくりに取り組んだ。制作では異年齢で関わりながら年上の子が年下の子に教えたり手伝う中で、半年ほどかけて大きな動物を作り上げた。また素材を自由に使って自分の表現を楽しみ、展示して見てもらう喜びも味わった。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ① 潰すと香りが強くなることを発見し、液に酢を加えた時の色の変化には驚きの声が上がった。砂場で富士山と温泉を作った子どもたちは経験した旅行を再現し、共同作業で作った達成感を味わった。穴の深さを測った子は、数への興味がより深まっている。
- ② 積み木遊びではイメージしたことを言葉にして伝え合い、自分の思いと相手の思いをどうしたら実現できるか、相談して互いに折り合いをつけながら完成まで取り組んだ。制作では半年がかりの作品ができ上がってくると、背景や草原なども作りたいと欲が出て、飽きずに取り組み、乳児や保護者にも見てもらうことでより満足感を得ていた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た職員の気づき>

- ① 潰した植物が予想よりはるかに強い香りを放ったことで好奇心が強く刺激されていた。砂場では掘ることを楽しむ内に底が見えたことに驚き、新たな関心がわいていた。五感からの刺激や思わぬ展開から、子どもの探求心が深まっていくことに気付いた。
- ② 積み木も制作も日頃から親しんでいる遊びだが、新たな玩具が加わったり、普段と違うサイズに挑戦することで、『どう積もう?』『どこから手をつければいいのか?』など、違う角度から考え話し合う姿があり、思考力や遊びの広がりが感じられた。